

○国道1号や二川BP渋滞解消へ整備訴え  
豊橋市二川校区の懇談会

○新たな「盤状集骨」の遺構  
あす現地説明会・田原の保美貝塚

○森林研究推進などで連携  
愛知と静岡の技術センター協定

○沖縄産の芭蕉で仏子つくる  
豊橋の西光寺小原住職

○中学生夏休み企業場見学会2日目  
ものづくりの技術学ぶ・豊橋

○陸上で東三河勢が大健闘  
全国高校総体

○実験的に描いた意欲作も「中村正義展」始まる  
豊川市桜ヶ丘ミュージアム

○ボトルキャップで蒲郡「ビッグ合成樹脂」  
緑色の植木鉢を製作・あす販売

○甘みたっぷり盛夏に潤い  
果物2種出荷始まる

平成24年8月2日のニュース

## ボトルキャップで蒲郡「ビッグ合成樹脂」 緑色の植木鉢を製作・あす販売

ペットボトルのキャップを集め、海外の子どもにポリオワクチンを送るエコキャップ運動で回収業務を務める蒲郡市大塚町のプラスチック加工業・ビッグ合成樹脂(杉浦光行社長)は、緑茶のキャップを原料に緑色の植木鉢をつくった。4日に同町のくすのき福祉事業会で開かれる盆踊り大会のバザーで300鉢を1個100円で販売、売上を同事業会に寄付する。

多くの人にリサイクルに関心を持ってもらおうと植木鉢を製作することにした。年間回収される白や赤などのキャップのうち、緑のみを使用。鉢は深さ17センチ、外径30センチで、約110個分のキャップを使っているという。

同社は4年前から、NPOエコキャップ推進協会の「エコキャップ運動」(横浜市)が行う活動に参画。障がい者雇用にも取り組んでおり、町内のケアホームで暮らす知的障がい者の今城祐美子さん(48)に仕分け作業を任せている。年間回収する約4800万個のうち、緑茶に使われている緑色キャップは約38万5000個ほどある。

杉浦社長は「グリーンは地球環境にやさしい色。リサイクルで作った鉢で緑化にも努めてもらえば」と話している。

盆踊り大会は4日午後5時半から同8時まで開かれ、会場にバザーのブースを設ける。

(安藤聡)



緑茶のキャップを仕分ける今城さん(右)と緑色の植木鉢を手にする杉浦社長＝蒲郡市大塚町で